

令和 5 年度 五泉市一般廃棄物処理実施計画書

五泉市環境保全課

I ごみ処理実施計画

1 処理計画策定の範囲

○計画策定の範囲は「収集運搬の範囲」についてとする。

2 ごみの排出抑制、再資源化計画

(1) 排出抑制の方法

○広報誌やチラシ等でごみの減量化等を啓発

○町内会単位でのごみ分別指導会の実施

(2) 再資源化の方法

○資源ごみの回収（古紙・紙パック・ペットボトル等）

広報誌等で、古紙・紙パック・ペットボトル等の分別方法の記事を掲載。
町内会等でごみ分別減量化 出前講習会を開催した際に、分別と再資源化を呼びかける。

(3) 再資源化の量

単位：t／年

区 分	紙 類	金属類	ガラス類	布 類	そ の 他
資源ごみの種類	新聞紙 ダンボール 雑誌類 紙パック	アルミ 硬質アルミ など	ビン カレット	古 着	ペットボトル
分別収集	1,188	481	414	50	134
収集後分別					
団体回収					
そ の 他 ()					
合 計	1,188	481	414	50	134

(4) 関連施設の概要（施設名、所在地、型式、公称能力等）

施 設 名 称	
設 置 場 所	
型 式	
公 称 能 力	

施 設 名 称	
設 置 場 所	
型 式	
公 称 能 力	

施 設 名 称	
設 置 場 所	
型 式	
公 称 能 力	

3 収集・運搬計画

(1) 収集区域の範囲

ア 処理区域及び人口

区 分		面 積 (km ²)	人 口 (人)
行政区域 A		351.91	46,931
	計画収集 B		46,931
	自家処理 C		0

注1) $A = B + C$

注2) 4月1日現在の人口。

(2) 収集の方法

ア 収集回数及び方式

区 分	分別収集					混合収集
	可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	資源 ごみ	その他 (有害ごみ、プラス チック)	混合 ごみ
収集回数	3回/週	1回/月		古紙等： 2回/月 古着等： 1回/2ヶ月 ペット： 1～24回/月	有害ごみ： 1回/2ヶ月 廃プラ： 1回/月	
収集方式	a 1,094	a 1,094		古紙等 a 1,094 古着等： a 1,094 ペット拠点 c 139	a 1,094	

注1) 「収集方式」に該当する記号を記入。

a ステーション方式、b 各戸収集方式、c 拠点方式

注2) ステーション方式の場合、ステーション数を記入。

イ 収集形態

区分ごとの収集形態

区 分	収集形態
可燃ごみ	直営・委託・許可
不燃ごみ	委託・許可
粗大ごみ	委託・許可
資源ごみ	直営・委託・許可
混合ごみ	—
その他内容 (有害ごみ、プラスチック)	委託・許可

ウ 許可に係る収集区域の指定

廃棄物の区分ごとに区域指定の有無

区分	可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	資源 ごみ	混合 ごみ	その他 (有害ごみ、プラスチック)
区域指定 の有・無	無	無	無	無	—	無

エ 収集・運搬業

① 委 託

業 者 名	代表者名	事務所 所在地	廃棄物 の種類 A	排出先 の種類 B	車両 台数	積載量 (t)
(有)川口商店	川口 裕	五泉市土深636	a, b, d, f (有害 ごみ、プラス チックごみ)	a	10	25.7
(有)武藤清掃工業	武藤 浩行	五泉市一本杉2329-1	//	a	4	9.63
(株)鶴木産業	鶴木 敏光	五泉市木越1941-1	d	a	3	5.48
(有)樽井清掃	樽井 正明	五泉市別所1072	a, b, d, f (有害 ごみ、プラス チックごみ)	a	5	12.48
(有)松尾清掃	松尾 和康	五泉市番坂甲4568-6	//	a	5	10.83
(有)愛宕クリーンサービス	長橋 幸一郎	五泉市青橋2257	//	a	4	8.05

廃棄物の種類

A : a 可燃ごみ b 不燃ごみ c 粗大ごみ d 資源ごみ e 混合ごみ f その他 ()

排出先の種類

B : a 家庭系 b 事業系

注1) 市町村が直接に委託している業者を記入。

注2) 「廃棄物の種類」は収集運搬業者が扱う廃棄物について、もれなく記入。

注3) 積載量は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数第2位まで記入。

② 廃棄物処理法 第7条 許可業者

業 者 名	代表者名	事務所 所在地	廃棄物 の種類 A	排出先 の種類 B	車両 台数	積載量 (t)
(有)川口商店	川口 裕	五泉市土深636	a, b, d	b	10	25.7
(有)武藤清掃工業	武藤 浩行	五泉市一本杉2329-1	a, b, d	b	5	9.63
(株)鶴木産業	鶴木 敏光	五泉市木越1941-1	a, b, d	b	3	5.48
(有)樽井清掃	樽井 正明	五泉市別所1072	a, b, d, f (食品残渣処理)	b	5	12.48
(有)松尾清掃	松尾 和康	五泉市番坂甲4568-6	a, b, d	b	5	10.83
(有)愛宕クリーンサービス	長橋 幸一郎	五泉市青橋2257	a, b, d	b	4	8.05
(株)ネクスコ・メンテナンス新潟	小林 正俊	長岡市喜多町字金輪138番1	a, b, d	b	3	7.80
(株)高岡商店	高岡 繁信	五泉市村松乙290-57	b, d	b	3	9.55
(有)吉田商事	吉田 智彦	新潟市北区太郎代680-1	f (木くず)	b	7	38.05
グリーンリサイクル(株)	千葉 政浩	宮城県富谷市 成田9丁目3番地5	f (木くず)	b	3	24.40
(株)小林建材	小林 一義	五泉市愛宕丙145番地の1	f (木くず)	b	3	9.95

廃棄物の種類

A : a 可燃ごみ b 不燃ごみ c 粗大ごみ d 資源ごみ e 混合ごみ f その他 ()

排出先の種類

B : a 家庭系 b 事業系

注1) 市町村が許可している業者を記入。

注2) 「廃棄物の種類」は収集運搬業者が扱う廃棄物について、もれなく記入。

注3) 積載量は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数第2位まで記入。

(3) 収集・運搬するごみの量

① 収集形態別収集量

単位：t／年

区 分			直 営	委 託	許 可	その他 ()	直 接 搬 入	計	合 計
分 別 収 集	可燃 ごみ	家庭系		11, 000			500	11, 500	16, 355
		事業系	25		4, 400		430	4, 855	
	不燃 ごみ	家庭系		980			15	995	1, 068
		事業系			70		3	73	
	粗大 ごみ	家庭系							
		事業系							
	資源 ごみ	家庭系		1, 350				1, 350	1, 375
		事業系	10		15			25	
その他 (汚 害)	家庭系		140				140	140	
	事業系								
混合 収集	混合 ごみ	家庭系							
		事業系							
合 計		家庭系		13, 470			515	13, 985	18, 938
		事業系	35		4, 485		433	4, 953	

注1) 「直接搬入」とは、市町村の直営及び委託・許可業者による収集以外の方法で収集されるもの（排出者自らが運搬するなど）とする。

② 搬入先別搬入量

単位：t／年

区 分		焼却処 理施設	最終 処分場	資源化 施設	焼却・資源化 以外の中間 処理施設	その他 ()	計	合 計
分 別 収 集	可燃 ごみ	家庭系	11,500				11,500	16,355
		事業系	4,855				4,855	
	不燃 ごみ	家庭系		995			995	1,068
		事業系		73			73	
	粗大 ごみ	家庭系						
		事業系						
	資源 ごみ	家庭系			1,350		1,350	1,375
		事業系			25		25	
混合 収集	混合 ごみ	家庭系		23	117		140	140
		事業系						
合 計	混合 ごみ	家庭系	11,500	1,018	1,467		13,985	18,938
		事業系	4,855	73	25		4,953	

注1) 「① 収集形態別収集量」の各区分の合計と「② 搬入先別搬入量」の合計が一致する。

注2) 「資源化施設」とは、リサイクルセンター、リサイクルプラザ、ストックヤード、燃料化施設、堆肥化施設等の資源化を目的とした施設とする。

(4) 中継施設の概要

区 分		ご み	粗大ごみ	そ の 他
施設名	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			
所在地	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			
処理方式 (型式)	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			
公称能力	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
	⑦			
	⑧			

注1) ごみの運搬において中継施設を有する場合は、その施設概要を記載。

4 中間処理計画

(1) 処理施設の概要

施設種類	施設名称	所在地	処理方式 (形式)	公称能力 (t/日)	年間計画 処理量 (t/年)	稼働日数 (日/年)	1日平均 処理量 (t/日)

注1) 「施設種類」は、焼却施設、粗大ごみ処理施設、資源化施設、その他中間処理施設の4区分とする。

注2) $(1日平均処理量) = (年間計画処理量) \div (稼働日数)$

注3) 「処理方式(形式)」の例示は次のとおり。

焼却施設：全連(24時間稼働)、准連(16時間稼働)、バッチ(8時間稼働)

粗大ごみ処理施設：破碎又はせん断等の方式(ex. 回転式破碎 など)

資源化施設：機械選別、手選別、磁選、圧縮、梱包 など

(2) 年間処理量

単位：t／年

区 分			粗大ごみ処理施設		資源化施設		その他中間処理施設		焼却処理施設
				処理後焼却 処理施設 (A)		処理後焼却 処理施設 (B)		処理後焼却 処理施設 (C)	※ (D)
分 別 収 集	可燃 ごみ	家庭系							
		事業系							
	不燃 ごみ	家庭系							
		事業系							
	粗大 ごみ	家庭系							
		事業系							
	資源 ごみ	家庭系							
		事業系							
その他 ()	家庭系								
	事業系								
混合 ごみ		家庭系							
		事業系							
直 接 搬 入	可燃 ごみ	家庭系							
		事業系							
	不燃 ごみ	家庭系							
		事業系							
	粗大 ごみ	家庭系							
		事業系							
	資源 ごみ	家庭系							
		事業系							
その他 ()	家庭系								
	事業系								
合 計		家庭系							
		事業系							

注1) 中間処理施設を有する市町村が記入。一部事務組合で中間処理している場合は、組合構成市町村は記入しない。

注2) 「粗大ごみ処理施設」「資源化施設」及び「その他中間処理施設」への搬入量を記載。なお、処理後の残渣を焼却施設に搬入する場合は、それぞれ(A)(B)(C)欄に搬入量を記載。

注3) 「焼却施設」への搬入量（(A)(B)(C)を含む。）を記載。

(3) 残渣の量及び処分方法

単位：t／年

最終処分場	直接埋立	処理残渣	その他 ()	合 計

注1) 最終処分場ごとに記入。

注2) 「直接埋立」には、最終処分場に直接搬入された量を記入。

注3) 「処理残渣」にはごみ処理施設（粗大ごみ処理施設、資源化施設、その他中間処理施設及び焼却施設）で中間処理され、最終処分場に搬入された残渣量を記入。

注4) し尿処理施設から排出される汚泥（乾燥又は焼却後のもの）及び廃棄物処理法第11条第2項の規定により、産業廃棄物を受け入れている場合は、「その他」とし、()に廃棄物の種類を記載。

5 最終処分計画

(1) 最終処分場の概要

区 分	(確認日：令和 年 4 月 1 日現在)
最終処分場名	
所在地	
埋立地面積	m ²
埋立地容量	m ³
埋立開始年月日	年 月 日
埋立終了予定年月日	年 月 日
埋立地残存容量	m ³

注1) 最終処分場を有する市町村が記入。

注2) 最終処分場を複数所有する場合は、処分場ごとに表を作成。

注3) 「埋立地残存容量」は原則4月1日現在の数値を記入。なお、4月1日現在の数値でない場合は、「確認日」を修正。

区 分	(確認日：令和 年 4 月 1 日現在)
最終処分場名	
所在地	
埋立地面積	m ²
埋立地容量	m ³
埋立開始年月日	年 月 日
埋立終了予定年月日	年 月 日
埋立地残存容量	m ³

区 分	(確認日：令和 年 4 月 1 日現在)
最終処分場名	
所在地	
埋立地面積	m ²
埋立地容量	m ³
埋立開始年月日	年 月 日
埋立終了予定年月日	年 月 日
埋立地残存容量	m ³

(2) 搬入される廃棄物の搬入者別の内訳量及び年間埋立量（覆土量）

区 分		可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	中間処 理残渣	その他 ()	合 計
一般 廃棄物	直 営							
	委 託							
	許 可							
	その他							
	直接 搬入	家庭系						
		事業系						
t/年	小計(A)							
産業 廃棄物	廃棄物名		処分量		廃棄物名		処分量	
t/年	処分量計(B)							
覆土t/年 (C)								
年間埋立量 (A)+(B)+(C)								
しや水シート		☐ 有 ☐ 無						
※ 汚水処理施設		☐ 有 ☐ 無 有に該当する場合は、その概要を(3)に記入すること。						

注1) 一般廃棄物の埋立量の合計は、4(3)の合計（産業廃棄物を除く）と一致。

注2) 複数の処分場を所有する場合は、施設ごとに表を作成。

注3) 「直営」：市町村及び一部事務組合が最終処分場に埋立廃棄物を搬入する場合
「委託」：市町村及び一部事務組合が委託した業者が埋立廃棄物を搬入する場合
なお、一部事務組合を構成する市町村の委託業者を含む
「許可」：市町村及び一部事務組合が許可した業者が埋立廃棄物を搬入する場合
なお、一部事務組合を構成する市町村の許可業者を含む

注4) 「粗大ごみ」は最終処分場に埋立処分するために直接搬入される粗大ごみの量を記入。
なお、粗大ごみ処理施設で発生した残渣は「中間処理残渣」に記入。

注5) 「その他」には、区分にない一般廃棄物（し尿処理残渣等）を記入。

注6) 産業廃棄物とは法第11条第2項の規定により受け入れている物を言う。

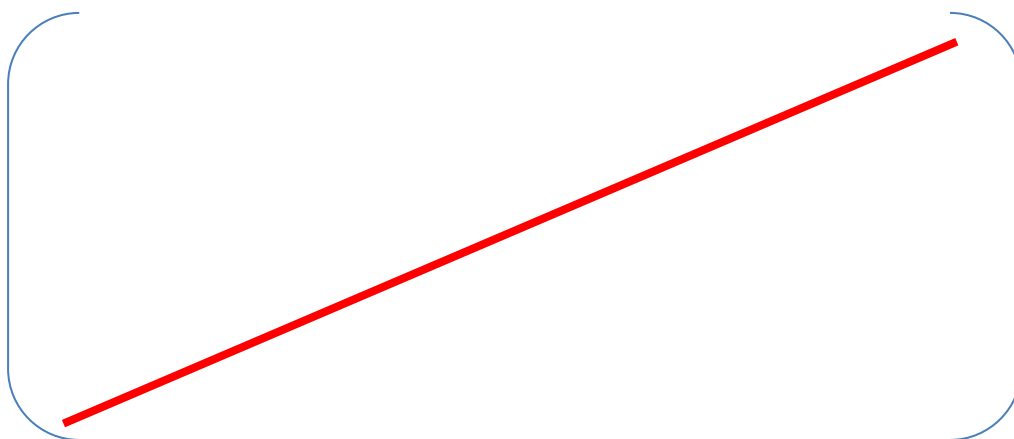
(3) 汚水処理施設の概要（施設名、所在地、型式、公称能力等）

〔上記(2) 汚水処理施設で有に該当する場合のみ記入願います。〕

処理能力： 日平均処理量 m³/日 最大処理量 m³/日

水処理方式：

(4) 埋立状況 (埋立区域、埋立方法等の概要)



6 住民に対するごみについての広報啓発活動

- | | | | | | |
|---|-----------------------|---------|---|-----|--------|
| a | 市町村広報 | (6回/年) | b | テレビ | (回/年) |
| c | ラジオ | (回/年) | d | 新聞 | (回/年) |
| e | 回覧板 | (3回/年) | f | 掲示板 | (回/年) |
| g | その他 (ごみ収集日程表) (1回/年) | | | | |

(備 考)



Ⅱ 生活排水処理実施計画

1 処理計画策定の範囲

○計画策定の範囲は「収集運搬」についてとする。

2 収集・運搬計画

(1) 収集区域の範囲

ア 処理区域及び人口

(令和5年4月1日現在)

区分		面積 (km ²)	人口 (人)
行政区域 A		351.91	46,931
	非水洗化 B		4,026
	計画収集 C		4,026
	自家処理 D		0
	水洗化 E		42,905
	公共下水道 F		23,934
	コミュニティ・プラント G		0
	単独処理浄化槽 H		10,283
	合併処理浄化槽 I		8,688
	農業集落排水処理施設 J		0
	漁業集落排水処理施設 K		0
	その他 L		8,688

$$A = B + E$$

$$B = C + D$$

$$E = F + G + H + I$$

$$I = J + K + L$$

(2) 収集の方法

ア 収集回数及び方式

区分	収集回数	条例等で規定する内容
汲取し尿	戸別	収集料金
浄化槽汚泥	年1回以上	なし
雑排水汚泥	なし	

注1) 収集回数が地域により異なる場合は、地域ごとに表を作成。

イ 収集形態

区分ごとの収集形態について

区 分	収集形態
汲取し尿	委託
浄化槽汚泥	許可
雑排水汚泥	-

ウ 許可に係る収集区域の指定

廃棄物の区分ごとに区域指定の有無を記載してください。

区分	汲取し尿	浄化槽汚泥	雑排水汚泥
区域指定 の有無	有	有	-

注1) 同一区分で、区域指定のある業者と区域指定のない業者がある場合は、
「有」と「無」の両方を記載。

エ 収集・運搬業

① 委 託

業 者 名	代表者名	事務所 所在地	廃棄物 の種類 A	車両 台数	積載量 (kL)
五泉衛生社	皆川 致光	五泉市赤海1丁目8番18号	a	2	4.80
(株)浅井衛生社	浅井 雅儀	五泉市旭町7-28	a	1	3.00
(株)高野浄化槽管理サービス	高野 雄矢	五泉市今泉194-1	a	4	14.10
長谷川衛生社	長谷川 静夫	五泉市論瀬3264-3	a	1	1.80
(株)環境設備保全	岩城 正史	五泉市猿和田11	a	1	3.00
(有)愛宕清掃センター	長橋 幸一郎	五泉市青橋2257	a	5	10.85

廃棄物の種類

A : a 汲取りし尿 b 浄化槽汚泥 c 雑排水汚泥

注1) 市町村又は直接に委託している業者を記入。

注2) 「廃棄物の種類」は収集運搬業者が扱う廃棄物について、もれなく記入。

注3) 積載量は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数第2位まで記入。

② 許 可

業 者 名	代表者名	事務所 所在地	廃棄物 の種類 A	車両 台数	積載量 (kL)
五泉衛生社	皆川 致光	五泉市赤海1丁目8番18号	b	2	4.80
(株)浅井衛生社	浅井 雅儀	五泉市旭町7-28	b	1	3.00
(株)高野浄化槽管理サービス	高野 雄矢	五泉市今泉194-1	b	4	14.10
長谷川衛生社	長谷川 静夫	五泉市論瀬3264-3	b	1	1.80
(株)環境設備保全	岩城 正史	五泉市猿和田11	b	1	3.00
(有)愛宕清掃センター	長橋 幸一郎	五泉市青橋2257	b	5	10.85

廃棄物の種類

A : a 汲取りし尿 b 浄化槽汚泥 c 雑排水汚泥

注1) 市町村又はが直接に委託している業者を記入。

注2) 「廃棄物の種類」は収集運搬業者が扱う廃棄物について、もれなく記入。

注3) 積載量は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数第2位まで記入。

(3) 収集・運搬するし尿、汚泥の量

ア 収集形態別収集量

単位：kl／年

区分	直営	委託	許可	その他 ()	合計
汲取りし尿		3,800			3,800
浄化槽汚泥			9,700		9,700
雑排水汚泥					
合計		3,800	9,700		13,500

注1) 収集運搬を行っている市町村が記入。

例えば、市町村の直営及び委託・許可業者が収集運搬している場合は、当該市町村が構成する一部事務組合は記入しない。

注2) 「直接搬入」とは、市町村の直営及び委託・許可業者による収集以外の方法で収集されるもの（排出者自らが運搬するなど）とする。また、他市町村から搬入されたごみは「直接搬入」とする。

イ 搬入先別搬入量

単位：kl／年

区分	し尿処理施設	公共下水道	汚泥専用 処理施設	農村還元	その他 ()	合計
汲取りし尿	3,800					3,800
浄化槽汚泥	9,700					9,700
雑排水汚泥						
合計	13,500					13,500

注1) 「ア収集形態別収集量」の各区分の合計と「イ搬入先別搬入量」の合計が一致する。

3 中間処理実績

(1) 処理施設の概要

施設種類	施設名称	所在地	処理方式 (形式)	公称能力 (kl/日)	年間計画 処理量 (kl/年)	稼働日数 (日/年)	1日平均 処理量 (kl/日)

注1) 「施設種類」は、し尿処理施設、汚泥再生処理センターの区分とする。

注2) (1日平均処理量) = (年間計画処理量) ÷ (稼働日数)

2) 年間処理量

単位：kl／年

区 分	し尿処理施設	公共下水道	汚泥専用処理施設	その他 ()
汲取りし尿				
浄化槽汚泥				
雑排水汚泥				
合 計				

注) 処理施設を有する市町村が記入。一部事務組合で中間処理している場合は、組合構成市町村は記入しない。

(3) 残渣の量および処分方法

単位：t／年

区 分	直接埋立	焼 却		肥料等	その他 ()	合 計
		埋 立	その他			
残渣量						

注1) し尿処理施設及び汚泥専用処理施設から排出される残渣量を記入。

注2) 「焼却」の残渣量は、焼却前の残渣量を記入。

注3) 「その他」は、「直接埋立」「焼却」「肥料等」以外の残渣の処分又は民間事業者へ処分を委託している場合に記入。

4 最終処分実績

(1) 最終処分場の概要

〔I ごみ処理実施計画の5(1)に記載してある場合は、記載不要〕

区 分	(確認日：令和 年 月 日現在)
最終処分場名	
所在地	
埋立地面積	m ²
埋立地容量	m ³
埋立開始年月日	年 月 日
埋立終了予定年月日	年 月 日
埋立地残存容量	m³

注1) 最終処分場を有する市町村が記入。

注2) 最終処分場を複数所有する場合は、処分場ごとに表を作成。

注3) 「埋立地残存容量」は原則4月1日現在の数値を記入。なお、4月1日現在の数値でない場合は、「確認日」を修正。

(2) 搬入されるし尿処理汚泥等の搬入者別の内訳量

単位：t／年

区 分	焼却灰	消化汚泥	脱水汚泥	その他	合 計
直 営					
委 託					
許 可					
その他					
合 計					

注1) 最終処分場に搬入されるし尿処理汚泥の焼却灰、脱水汚泥等について搬入者別に記入。

注2) 複数の最終処分場に搬入している場合は、その合計を区分ごとに搬入者別に記入。

注3) 「直営」：市町村及び一部事務組合が最終処分場に埋立廃棄物を搬入する場合

「委託」：市町村及び一部事務組合が委託した業者が埋立廃棄物を搬入する場合

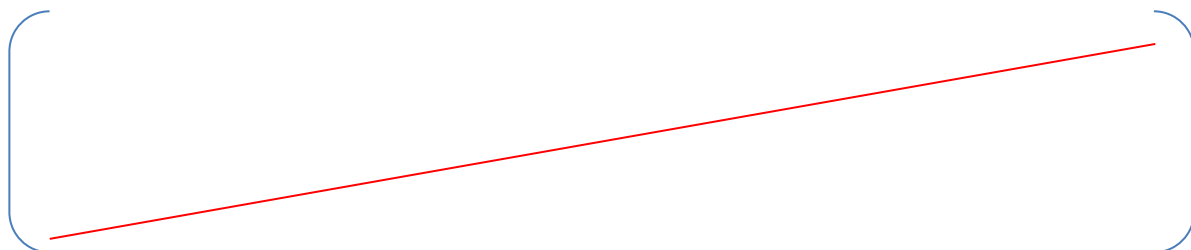
なお、一部事務組合を構成する市町村の委託業者を含む

「許可」：市町村及び一部事務組合が許可した業者が埋立廃棄物を搬入する場合

なお、一部事務組合を構成する市町村の許可業者を含む

(3) 埋立状況（埋立区域、埋立方法等の概要）

〔I ごみ処理実施計画の5（4）に記載してある場合は、記載不要〕



5 住民に対する生活排水についての広報啓発活動

- | | | | |
|---|--------------|---|-----------|
| a | 市町村広報（ 2回／年） | b | テレビ（ 回／年） |
| c | ラジオ（ 回／年） | d | 新聞（ 回／年） |
| e | 回覧板（ 回／年） | f | 掲示板（ 回／年） |
| g | その他（ | | ）（ 回／年） |

（備考）

